バッシング（2005）

BASHING

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 82分
初公開日 2006/06/03
公開情報 バイオタイド

【キャッチコピー】
ひとりの女性が日本を捨てた――。
彼女が彼女であるために。

【解説】
2004年にイラクで起きた日本人人質事件を巡る日本国内での反応をヒントに、中東で人質となった主人公の帰国後の姿を描いた社会派ドラマ。監督は「歩く、人」「フリック」の小林政広。2005年のカンヌ国際映画祭コンペティション部門正式出品作。
北海道のとある海辺の町。ホテルでアルバイトをしていた高井有子は、ある日突然クビになってしまう。彼女は中東の戦時国でボランティア活動中、武装グループに拉致・監禁され、人質となった女性。無事に解放され、帰国した彼女には世間からの厳しいバッシングが待っていた。ホテルの支配人も、そんな彼女の存在を持て余し、クビを決断したのだった。しかし、彼女を待っていた不幸はそれだけに止まらなかった。

【クレジット】

監督	小林政広	
脚本	小林政広	
撮影監督	斉藤幸一	
編集	金子尚樹	
録音	秋元大輔	
効果	横山達夫	
助監督	川瀬準也	
出演	占部房子	高井有子
	田中隆三	高井孝司
	香川照之	支配人
	大塚寧々	高井典子
	加藤隆之	
	本多菊次朗	
	板橋和士	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.